

# シンフォニー



Vol. 46

2017 Spring



## 特集

男女共同参画に関する市民意識調査結果報告…P2・3

■ 第15回郡山市男女共同参画フェスティバル報告……………P4・5

■ 市民編集委員特別企画 ～性的マイノリティについて考える～…P6

シンフォニー(交響曲)には、  
みんなの声を響き合わせたい  
という想いが込められています。

郡山市では、「男女共同参画のまち 郡山」の実現を目指して、平成28年7月に市民の皆さんを対象に「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施しました。前回調査から4年が経過し、社会情勢が大きく変化する中で、市民の皆さんの意識はどのように変化してきているのでしょうか。過去の調査結果と比較しながら、調査結果の一部をご紹介します。

## 調査概要

対象：市内在住20歳以上の男女  
 調査数：3,000人（男女各1,500人）  
 回答者：968人（回答率32.3%）

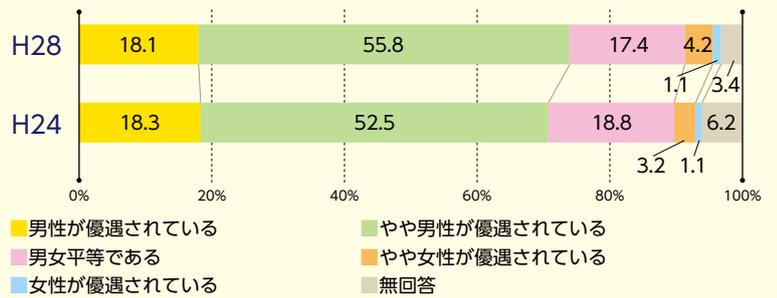
## 1 男女平等について

「男性が優遇されている」、「やや男性が優遇されている」と考えている人が全体の73.9%を占めており、「男女平等」と考えている人の17.4%を大きく上回っています。

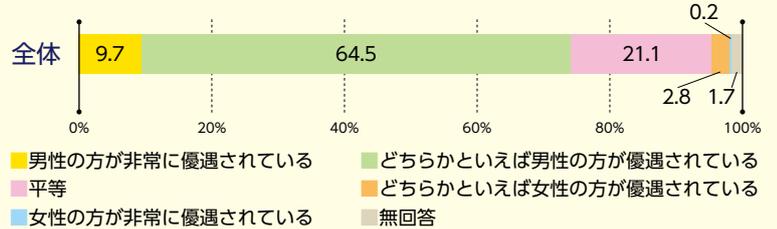
「男性優遇」の意識が依然として高い傾向にあります。国（内閣府）の「男女共同参画に関する世論調査」でも本市と同様に「男性優遇」の意識が高い結果が出ています。



あなたは、社会全体において男女の地位が平等だと思いますか



【参考】内閣府「男女共同参画に関する世論調査」(H28.9月)



前回調査と比較しても、男性優遇の意識は高いままだね

## 2 人権について



あなたは、次のような人権侵害を受けたり、身近で見聞きしたことがありますか

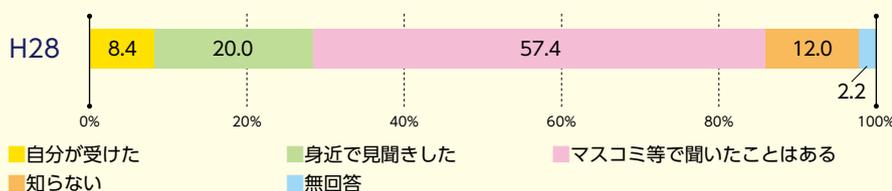
### パワー・ハラスメント



新たな調査項目です

### モラル・ハラスメント

無視などの態度や人格を傷つけるような言葉など、精神的な嫌がらせ・迷惑行為によって、巧妙に人の心を傷つける行為



パワハラを「自分が受けた」と答えた人は、12.3%、「身近で見聞きした」と答えた人は27.2%と、ともに前回調査と比較して減少していますが、「マスコミ等で聞いたことはある」と答えた人は48.9%と増加しています。

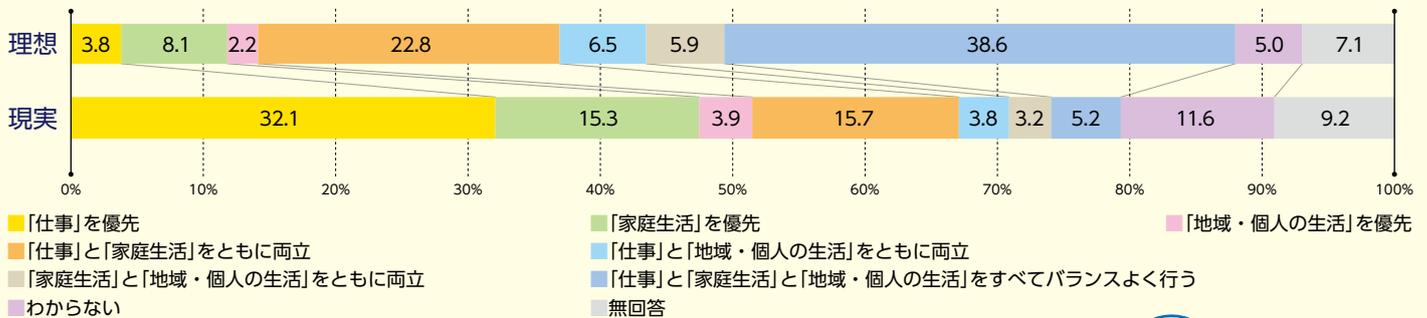
また、今回の調査で新たに「モラハラ」について調査したところ、「自分が受けた」と答えた人が8.4%、「身近で見聞きした」が20.0%、「マスコミ等で聞いたことはある」が57.4%となっており、認知度が高いことが分かりました。

# 3

## 仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)について



仕事と生活について、あなたの考え方(理想)と現実(現状)にもっとも近いものを教えてください



「仕事、家庭生活、地域・個人の生活をすべてバランスよく行う」ことが理想と考える人が全体で38.6%と最も多くなっているにもかかわらず、現実としては、「仕事を優先」と考える人が32.1%と最も多くなっており、理想と現実に大きなギャップがあることがうかがえます。

地域・個人の生活や家庭生活を両立したいけど、できない人は多いんだね



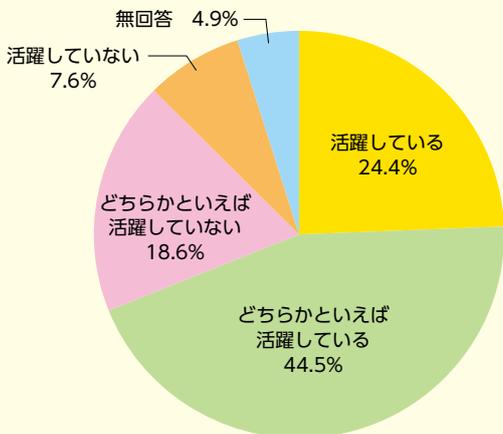
# 4

## 新たな視点での調査結果について

本調査では、新たな視点として『女性活躍』や、東日本大震災を受けて『防災』についても調査を実施しました。『女性活躍』については、「活躍している」「どちらかといえば活躍している」と答えた人が68.9%となっており、女性が活躍しているという意識をもっている人が多い傾向にあります。また、『防災』では、男女が安心できる防災体制としては「男女ともに安心して利用できる避難所運営のためのマニュアル作成」が必要との意見が多くなっています。



あなた自身あるいはあなたの身近にいる女性は、仕事や地域活動で活躍していると思いますか



大規模災害時の備えに関して、男女がともに安心できる防災体制を整えるためには日常的にどのようなことが必要だと思いますか

- 1 男女とも安心して利用できる避難所運営のためのマニュアル作成 **22.7%**
- 2 郡山市地域防災計画に女性、子ども、高齢者等の意見を反映する **16.0%**
- 3 防災について、学習機会の提供 **15.8%**

回答率が高かった3項目を掲載しています。

ご自身の意識と比べてみて、いかがでしたか? 調査の詳細については、郡山市ウェブサイト、内閣府「男女共同参画社会に関する世論調査」については、内閣府ウェブサイトそれぞれ掲載しております。右側のQRコードからぜひご覧ください。



↑郡山市はコチラ



↑内閣府はコチラ

# フェスティバル報告

会場  
2月25・26日／郡山市立中央公民館  
3月4・5日／郡山市男女共同参画センター



2月  
25日 田

## オープニングセレモニー

郡山女子大学短期大学部音楽科によるオープニングコンサートに続いて、郡山市男女共同参画推進事業者表彰式を行い、女性活躍や仕事と家庭の両立支援など、男女がともに働きやすい環境づくりに積極的に取り組んだ8事業者を表彰しました。次の男女共同参画作文コンクールの表彰式では、優秀者の表彰及び最優秀作品の発表がありました。



### 男女共同参画 推進事業者表彰受賞者



受賞事業者の取り組み内容はここから確認ください↑



(前列左から)

- ▶大槻電気通信株式会社
- ▶陰山建設株式会社
- ▶株式会社コンピューターシステムハウス
- ▶福島県商工信用組合

(後列左から)

- ▶福島トヨペット株式会社
- ▶富士ゼロックス福島株式会社
- ▶リコージャパン株式会社福島支社
- ▶株式会社ワールドインテック福島

(敬称略)

### 男女共同参画 作文コンクール優秀受賞者

テーマ My dream

中学生の部

最優秀賞



緑ヶ丘中学校 二年 坂 茜音さん

優秀賞



郡山第一中学校 三年 安藤 葉さん

優秀賞



郡山ザベリオ学園中学校 二年 白江 誠史朗さん

高校生の部

最優秀賞



郡山学院高等専修学校 三年 伊藤 志音さん

優秀賞



第一学院高等学校郡山 二年 鷲尾 日砂乃さん

### 最優秀賞 「My dream」

緑ヶ丘中学校 二年 坂 茜音さん

私の将来の夢は臨床検査技師になることです。この仕事は患者の身体の状態を知るため、医師の指示の下に様々な検査を行う仕事です。「臨床検査」とは医師が診断をする際に患者の病気の状態を評価するための検査のことをいいます。臨床検査をすれば患者が症状を自覚する前に異常をとらえることもあり、病気の早期発見、早期治療につながります。臨床検査技師は検査結果を医師に正しく伝えることによって診断や治療をサポートする大切な仕事です。臨床検査技師になるには、短大か専門学校、大学で勉強をし、所定の課程を修了し、受験資格をとり、国家資格をとることが必要です。

私がこの仕事に就きたいと思ったきっかけは、昨年の夏に行った職業体験学習です。私は星総合病院へ行き、臨床検査技師と理学療法士の仕事を実際に体験させていただきました。その中で私が一番魅力を感じたのは臨床検査技師の仕事でした。体験したのは、顕微鏡で、実際に赤血球や白血球などを見ることでした。自分でピントを合わせながら、血液に異常がないかを見ました。この体験をして地道な仕事だが患者の病気の早期発見につながる大切な仕事なのだと思います。私は、この仕事はあらゆる機械や自

分の手で確実に、正確に検査をしてそれを細かく分析することで患者さんの治療に役立つ、とてもやりがいのある仕事だと思い、この仕事に就きたいと思いました。

私はこの仕事についてもっと知りたいと思い、臨床検査技師の方々に、求められる能力について聞き、三つのことを教わりました。まず一つ目は分析力が必要だということです。臨床検査技師はデータ分析が仕事の中心なので、データから状況を分析する力が必要です。二つ目は根気の強さです。検査データの分析は細かい作業が続きます。分析にミスがあると、命に関わる危険性もあるため集中して根気よく続ける力が必要とされます。三つ目は研究熱心であることです。医療は、進歩が著しい領域で、新しい機器や検査法などが次々でてくるため、毎日の勉強と研究熱心で向上心が強いことが望まれます。

私はこれらのことを学んで、夢を叶えるために今すべきことは何かを考えました。それは、数学と化学を得意教科にすることです。臨床検査技師はデータ分析が主な仕事なので、数学と化学に強くなければなりません。夢の実現のために、この二教科を得意にし、病気の人々を救う手助けの出来る臨床検査技師になりたいです。

# 第15回 郡山市男女共同参画

2月  
25日

## 講演会

講師 タレント あさぎ 久仁子 くにこ さん

「明日も素敵に輝いて生きる」  
～仕事とプライベートを充実させる生き方～

芸能界に入った当時は、女性が活躍できる場が限られており、女性タレントは妊娠すると、当然引退するものと考えられていた中で、バラエティタレントとして初めて報道番組のレギュラーをしながら、出産・子育てを行い職場復帰するなど、大変なご苦労をなされたそうです。

また、ご自身の乳がんの経験から、これからは、子育て、介護、病気などのさまざまな事情を抱える中で、いかに仕事と生活を充実させ、社会にかかわっていくのかが「共同参画」社会の大きな課題であるとの話をいただきました。麻木さんのユーモアをまじえながらのお話に会場はとても和やかな雰囲気になりました。



2月  
26日

## ふれあい発表会

さんかくプラザで活動している踊りや音楽のサークルが日頃の練習の成果を発表しました。

阿波踊り「あさか連」／薫花架拳愛好会／華翔クラブ(花架拳)／郡山ジャディス愛好会／静山流静慧会福島県(詩舞)／太極剣研究会／華の舞(日本舞踊)／ハワイアンフラ愛好会／フォークダンス・エーデルワイス／フルートアンサンブル・ドルチェ／友・遊太極拳クラブ／朗読グループハイジ (50音順)



## イベント

来場者イベントとして、「もちつき大会」や「勾玉作り体験」が催され、多くの親子連れで賑わいました。

### 3/4 もちつき大会



### 3/4・5 まがたま 勾玉作り体験



3月  
4日  
5日

## 市民自主企画

市内で活動するグループの皆さんが、それぞれ企画した講座などを実施し、多くの市民の皆さんが参加しました。

企画名	主催
みんなで考えよう！ 私たちの暮らしを守る憲法とは？	1女性会議郡山支部／平和と民主主義を守る女たちの会(鳩の会)
これからの医療と介護	高齢社会をよくする女性の会郡山
私だけの防災グッズ作り	郡山市婦人団体協議会
東日本大震災から5年。 福島の女性たちは…	NPO法人 ウィメンズスペースふくしま
紙芝居でみる地域の歴史	まなびの会
スクエアダンスで脳トレと 楽しい触れ合いを	郡山スクエアダンスクラブ

3月  
4日  
5日

## 展示コーナー

さんかくプラザで活動している団体の皆さんが、日頃の活動の成果を発表・展示しました。

社会には、いろいろな人が生きていて、その中には、人との違いが理解されず、「息苦しさ」や「生きづらさ」に悩む人達があります。本号では、そんな人たちの中でも、性的マイノリティの方について、多様性（ダイバーシティ）の重要性を議論する市民団体『ダイバーシティふくしま』共同代表の前川直哉さんを囲んで、市民編集委員の皆さんと一緒に考えました。



## 福島に來られて、 どんな活動をされてきましたか？

普段は、学習セミナーや特別授業という形で中高生の学習支援を行っています。性に関する講演も行ってありますが、徐々に依頼が増えてきており、性的マイノリティへの関心が福島でも深まってきていると感じています。

## profile



前川 直哉さん

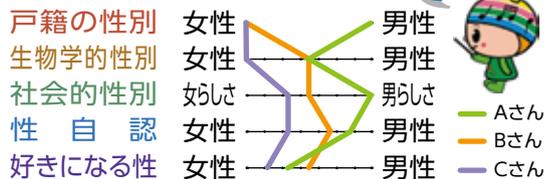
兵庫県出身。東京大学教育学部卒業、京都大学大学院人間・環境学研究科博士後期課程修了。灘中学校・高等学校退職後、2014年4月より福島県に転居。(一社)ふくしま学びのネットワーク理事・事務局長、ダイバーシティふくしま共同代表等を務める。

## 性的マイノリティについて 詳しく教えてください

性的マイノリティは、「LGBT※」の方など、何らかの意味で「性」のあり方が大多数の人とは異なる人々のことをいいます。13人に1人が性的マイノリティという調査結果も出ています。「性」と聞くと、多くの人は戸籍上の性別をイメージすると思いますが、「性」は「生物学的性別」、「社会的性別」、「性自認」、「好きになる性」という観点からみると、100人いれば100通りあり、グラデーションのようなもので、性は女と男の2通りではありません。「女（男）性だからこうだ」と一方的に決め付けて、何気ない言葉で相手を傷つけないように注意しなければいけません。

※ L:レズビアン(女性同性愛者)、G:ゲイ(男性同性愛者)  
B:バイセクシュアル(両性愛者)、T:トランスジェンダー  
(出生時に診断された性とは違う性を生きる人)の人たちの総称

## 性のグラデーション



## 性的マイノリティの方への 接し方を教えてください

当事者にとって性的マイノリティであることは特別なことではないので、一方的に決め付けないで、相手の悩みや希望をしっかり傾聴することが大切です。相手が相談しやすくするために、例えば、レインボーカラー（多様性尊重のシンボルカラー）グッズを身に付け、性的マイノリティに理解があることを周囲に知らせることもよいと思います。

## 性に悩む子どもが悩みを言い出せる 環境をつくるには何が必要ですか？

子どもたちが「性のグラデーション」を知ることだと思います。このことは、違いを歓迎できる子どもを育てることにつながります。性について正しい知識を伝えることに早すぎることはありません。学校や家庭などいろいろな時間・機会を使いながら、お互い認め合う、みんなが生きやすい社会を作っていきましょう。



前川先生、  
貴重なお話ありがとうございました  
(市民編集委員より)



この印刷物は、環境にやさしい FSC®認証紙と植物油インキ、UDフォントを使用しています。紙へリサイクル可。